

青年期発達論

2単位 3年(後期)

山本真由美・教授/人間文化学科

【授業目的】青年期は不思議な時代です。また、青年期は時代を映す鏡とも言われます。それはなぜでしょうか。青年期の諸事情と社会との関連について考えることを目的とします。

【授業概要】青年期の心理について学びながら自らの問題として捉え、考えていきましょう。

【キーワード】生涯発達、家族、地域社会

【先行科目】『生涯発達心理学』(1.0)

【関連科目】『青少年問題研究Ⅱ』(0.5)、『ジェンダー研究』(0.5)

【履修上の注意】自らの問題として主体的に学ぶ姿勢を期待します。2週に1回テーマを出します。受講生はグループを作り、そのテーマについて話し合ったり、ロールプレイを実施したりします。

【到達目標】

1. 青年期心理学の理論を理解し、説明できる。
2. 青年期の特徴を説明できる。
3. 青年期の特徴を理解し、対応法を考える。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 1. 青年期とは
3. 2. 青年期を理解するための理論 (1) 生理学的視点
4. 青年期を理解するための理論 (2) 精神分析的・心理社会的視点
5. 青年期を理解するための理論 (3) 認知的・社会認知的視点
6. 青年期を理解するための理論 (4) 社会文化的視点
7. 3. 青年期の思考特徴 自己中心性
8. 4. 青年期の恋愛と結婚
9. 話し合いとロールプレイ
10. 5. 青年期の職業観「と就職活動
11. 話し合いとロールプレイ
12. 6. 青年期の病理
13. 話し合いとロールプレイ
14. 全体討論
15. 試験
16. 総括

【成績評価】ミニッツペーパー(30%)、レポート(50%)、討論への参加状況(20%)を勘案し、総合的に判断する。

【再試験】なし

【教科書】使用しない。担当者がその都度配布もしくは紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219482>

【連絡先】

⇒ 山本 (3s06, 088-656-7192, yamamoto@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日昼休み)